

## ○ 委員長報告

6月定例会本会議で報告された観光スポーツ文教警察委員長報告は、以下のとおりです。

令和5年6月定例会

### 観光スポーツ文教警察委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、松山空港国際線需要回復促進事業についてであります。

このことについて一部の委員から、ソウル線の利用状況はどうか。また、情報発信をはじめ、アウトバウンド利用促進に向けた県内の取組みはどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、ソウル線は運航再開後の平均搭乗率が約8割となるなど好調に推移しているが、更なる増便に向けて、現在25%程度の日本人利用者の割合を高める必要がある。

このため、情報発信強化に向け、新たに松山空港国際線の情報を集約したウェブページを開設する経費を6月補正予算案に計上しているほか、駐車場料金やパスポート取得費用への助成、修学旅行での利用促進に取り組むこととしており、今後とも、アウトバウンド利用が増加する取組みを進めたい旨の答弁がありました。

第2点は、県立学校振興計画の具体化についてであります。

このことについて一部の委員から、補正予算案に計上している施設・設備の整備など、計画の実現に向けた事業の内容はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、新たに設置する学科やコースでの学びに対応するため、情報教室や商業教室等を整備する予定である。

また、職業・学科横断的学習への対応として、壁全面をホワイトボード化し、可動式の椅子・机の設置等を行うことで、グループワークや交流学习が可能となる広い多目的教室を整備するなど、異なる学科の生徒が集まり、ディスカッションや成果発表が行える学習環境も整えたいと考えている。

さらに、近年多様化している大学入試に対応するため、大学教授による交流授業や研究室への生徒訪問などにより、教員のノウハウ取得や生徒の意識向上を促進しながら、各校の進学指導力の充実に取り組みたい旨の答弁がありまし

た。

第3点は、県内の交通事故の発生状況についてであります。

このことについて一部の委員から、現状と今後の抑止対策はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、令和4年の県内の交通事故は、発生件数が2,132件、死者数が44人、負傷者数が2,355人で、全てにおいて前年比で減少しており、本年は発生件数と負傷者数は引き続き減少傾向にあるが、死者数は昨年と同程度である。

事故要因には季節特性もあることから、過去5年間の分析結果を踏まえた「交通重大事故抑止3か月対策」を推進しており、横断歩行者の保護対策や交差点の安全対策等に重点的に取り組むとともに、事故が多発傾向にある時間帯や場所での交通指導取締りや広報啓発活動を強化しており、引き続き関係機関・団体と連携を図り、交通事故抑止の取組みを強力的に推進していきたい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・ えひめアートプロジェクト推進事業
- ・ 国際線の再開・新規就航に向けた取組み
- ・ 不登校対策
- ・ 今後の学力向上施策
- ・ 特定小型原動機付自転車の交通安全対策
- ・ 横断歩道における車両の一時停止の現状と対策

などについても、論議があったことを付言いたします。

以上で報告を終わります。